

公益財団法人北陸先端科学技術大学院大学支援財団 中期目標

(実施期間 令和3年度～令和7年度)

令和3年3月 策定

1 団体の設立目的

北陸先端科学技術大学院大学の教育研究並びに同大学と産業界、学術関係機関及び地方公共団体等との交流の支援を図り、もって創造的な科学技術の発展に資する人材の育成及び研究開発基盤の充実に寄与することを目的としています。

2 団体の果たすべき役割

北陸先端科学技術大学院大学における教育研究、共同研究の促進や産学官の連携・協力の推進、優秀な学生の獲得や北陸三県への科学技術者の定着を目的とした奨学資金の助成などを行っています。

3 事業内容

(1) 教育研究助成事業

教員及び学生が行う調査研究等に対する助成

(2) 産学官連携事業

民間企業との共同研究等の実施に対する助成、産学官交流の場の提供等

(3) 奨学金助成事業

北陸三県に就職を希望する学生及び特に優秀な学生に対する奨学資金の助成

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・毎年3月に理事会、評議員会を開催し、翌年度の事業計画と収支予算の決議、6月に前年度の事業報告と決算承認を受け事業の適切な執行・管理運営を行っています。また、その内容については、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づき内閣総理大臣へ報告しています。

(2) 利用促進について

- ・北陸先端科学技術大学院大学と連携し、当財団の助成事業について周知し募集を行い、申請があったものについては内容を審査し適切に助成を行っています。

(3) 団体運営の効率化について

- ・常勤役員1名(県から派遣)、常勤職員2名の事務局体制で費用の縮減を図り、適切な事業の執行に努めています。

5 中期目標

(1) 中期目標

- ① 北陸先端科学技術大学院大学の若手研究者が行う調査研究の助成件数を現状維持します。
- ② 北陸先端科学技術大学院大学と企業とが行う共同研究の助成件数を現状維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標	基準値 (H29～R1平均)	中間目標値 (R5)	最終目標値 (R7)
① 調査研究助成件数	1 5 件	1 5 件	1 5 件
② 共同研究助成件数	1 1 件	1 1 件	1 1 件

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 利用促進に向けた取り組み

- ・北陸先端科学技術大学院大学と密接に連携を図り、当財団の果たすべき役割である大学での教育研究・調査研究や共同研究への助成を通じて、創造的な科学技術の発展に資する人材の育成及び研究開発基盤の充実に努めてまいります。

(2) 団体運営の効率化に向けた取り組み

- ・引き続き、管理運営費の経費節減等に努めるとともに、適切な事業執行に取り組めます。

参考資料(団体の概要)

1 団体の基本的情報

団体名	公益財団法人北陸先端科学技術大学院大学支援財団
所在地	石川県能美市旭台2-1
設立年月日	平成2年8月7日
代表者	理事長 久和 進
県所管課	企画課
設立に係る根拠法令等	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律
団体の沿革	平成2年8月 石川県や北陸三県の経済界を中心とする約 170社の企業等からの約 33億円の寄付を基本財産として、「財団法人北陸先端科学技術大学院大学支援財団」を設立 平成23年4月 公益法人の認定を受け、「公益財団法人北陸先端科学技術大学院大学支援財団」に移行

2 出資者、出資額等

出資者	出資額(千円)	比率(%)
石川県	1,000,000	30.3
北陸電力(株)	295,625	9.0
(株)北國銀行	200,000	6.1
中部電力(株)	140,725	4.3
関西電力(株)	138,947	4.2
その他	1,523,397	46.2
基本財産(資本金)計	3,298,694	100.0

3 役職員の状況

(単位:人)

常勤役員	1	常勤職員	2
うち県OB	0	うち県OB	1
うち県派遣	1	うち県派遣	0
非常勤役員	11	非常勤職員	0
役員 計	12	職員 計	2

中期目標の設定根拠 ※非公表

目 標	根 拠
<p>① 北陸先端科学技術 大学院大学の若手 研究者が行う調査 研究の助成件数を 現状維持します。</p>	<p>【最終目標値(R7)】 基準値(H29～R1平均) 15件</p> <p>【中間目標値(R5)】 基準値(H29～R1平均) 15件</p>
<p>② 北陸先端科学技術 大学院大学と企業 とが行う共同研究 の助成件数を現状 維持します。</p>	<p>【最終目標値(R7)】 基準値(H29～R1平均) 11件</p> <p>【中間目標値(R5)】 基準値(H29～R1平均) 11件</p>